

本ドキュメントは、AtermStationからダウンロードされたお客様用に、「AtermIB55Pro II 取扱説明書」から抜粋した内容を記載しています。

本ドキュメントにおいて、インストール元が「本製品に添付のCD-ROM」となっている箇所については、「お客様がダウンロードしたデータを保存したドライブ/フォルダ」と読み替えてください。

なお、Windows95用のドライバ/ユーティリティの利用方法については、従来どおりですので、お手持ちのマニュアルをご覧ください。

新たに追加された

「インストールアシスタント for Windows95」および「UIメールサーバ(お試し版)」の利用方法については、各ダウンロードファイルを実行することにより自動表示されるドキュメントをご覧ください。(ワードパットまたはWordでご覧いただけます。)

## 第11章 使用前の準備・インストール

本章では、Windows NT(R) 4.0上での本製品の取付からドライバソフトウェアのインストール、INSネット64/電話機などの接続までを説明します。本章での説明は、例として次のような場合のインストール方法について説明します。

- Windows NT(R) 4.0 Workstationを使用する
- 本製品から同期64kbps通信/非同期通信によるダイヤルアップ接続を行う
- インターネットに接続するのみ(発信専用)

まず、この例にしたがってインストールを行い、同期64kbps/非同期通信の動作を確認してください。接続を確認後、同期128Kbps通信に設定を変更することができます。

プロバイダへの接続だけを利用する場合には、取扱説明書「第13章 ユーティリティの使い方」で説明するユーティリティのインストールや設定は、必ず必要というわけではありません。プロバイダへの接続を確認した後、設定ユーティリティを利用するとよいでしょう。

\* Windows NT(R) 4.0は、Microsoft(R) Windows NT(R) operating system Version 4.0の略です。

\* Windows NT(R) 4.0 Workstationは、Microsoft(R) Windows NT(R) operating system Version 4.0 Workstationの略です。

インストール作業の概略は、次のようになります。

1. 本製品をパソコンに取り付ける。
2. Windows NT 4.0のCD-ROM(disc 1)および本製品に添付のCD-ROMを用意する。
3. Windows NT 4.0のCD-ROM(disc 1)および本製品に添付のCD-ROMを使って、パソコンにドライバソフトウェアをインストールする。  
※ Windows NT 4.0の場合、同期通信用ハードウェア(Aterm IB55Pro II Mini port Adapter、Aterm IB55Pro II Virtual Adapter)と非同期通信用仮想ハードウェア(Aterm IB55Pro II Comport Adapter)の両方がインストールされます。
4. 「モデム」のインストールを行う。
5. Windows NT 4.0を再起動する。
6. INSネット64回線や電話機などの接続を行う。

## 注意

必ず、本製品をパソコンに取り付けてからインストール作業を行ってください。パソコンに本製品を取り付けないと、ドライバソフトウェアのインストールは失敗しますのでご注意ください。必ずドライバソフトウェアのインストールを行ってください。インストールが正常に行われないと本製品は動作しません。また、本製品に接続したアナログ電話機やFAXも使えません。ドライバソフトウェアのインストールと電話機やFAXの接続が完了し、パソコンの電源を入れると通話/通信ができるようになります。ドライバソフトウェアのインストールを行う場合、サスペンドレジューム機能などの一時的にパソコンの動作を止める機能を無効にしてください。本製品に添付の「インストールアシスタント」は、Windows NT 4.0では使用できません。

## 11.1 パソコンへの取付

取扱説明書「2.2.4 パソコンへの取付」参照してください。ただし、Windows NT 4.0で本製品を使用する場合は、Microsoft(R) ISDN Accelerator Pack for Windows(R) 95 Version 1.1のインストールは必要ありません。

\* Windows(R) 95はMicrosoft(R) Windows 95 operating systemの略です。

## 注意

取付の際、必ず電源を切ってから作業を行ってください。故障の原因になるだけでなく、火災・感電の原因となることがあります。取付の際、本製品の板金の部分やはんだ面のとがった部分などにふれないように注意してください。手を切ったりけがをする危険があります。本製品に静電気が流れると、本製品の部品が破壊されるおそれがあります。本製品の取り付け・取り外しの際は、必ず両手を机などの金属製の物に触れて、静電気を放電させてから作業を行ってください。

## 11.2 ドライバソフトウェアのインストール

必ず、本製品をパソコンに取り付けてからドライバソフトウェアのインストールを行ってください。本製品を取り付けないと正常にインストールを行うことができません。

Windows NT 4.0のセットアップを行うときにネットワークをインストールしたかどうかによって、本製品に添付のドライバソフトウェアのインストール手順が異なります。

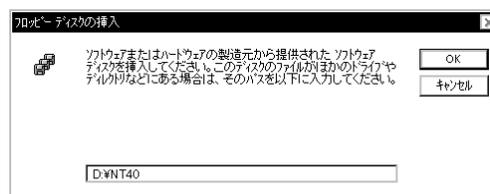
ネットワークをまだインストールしていない場合は、このページからご覧ください。

すでにネットワークをインストールしている場合は、本ドキュメントの「ネットワークのインストールをすでに行っている場合(アダプタの追加)」からご覧ください。

### ● ネットワークのインストールをまだ行っていない場合

- (1) Windows NT 4.0のCD-ROM(disc1)と本製品に添付のCD-ROMを用意します。
- (2) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」をダブルクリックします。
- (3) 「Windows NTネットワークがインストールされていません。今すぐインストールしますか?」と表示されます。「はい」をクリックします。
- (4) 「ネットワークセットアップウィザード」が起動します。「このコンピュータをネットワークに参加させる方法を指定してください。」と表示されるので、「ネットワークに接続」のみをマークし、「次へ」ボタンをクリックします。

- (5) 「[検索開始]をクリックするとネットワークアダプタの検索を開始します。」と表示されます。ここでは「一覧から選択」をクリックします。
- (6) 「ネットワークアダプタの選択」画面が表示されます。「ディスク使用」ボタンをクリックします。
- (7) 「フロッピーディスクの挿入」画面が表示されます。本製品に添付のCD-ROMをパソコンに入れ、CD-ROMのドライブ名とフォルダ名 (NT40) を入力し、「OK」ボタンをクリックします。(ここでは、例として「D:\NT40」)



- (8) 「OEMオプションの選択」画面で「NEC Aterm IB55Pro II」と表示されていることを確認し、「OK」ボタンをクリックします。
- (9) 「NEC Aterm IB55Pro II」がマークされていることを確認し、「次へ」ボタンをクリックします。

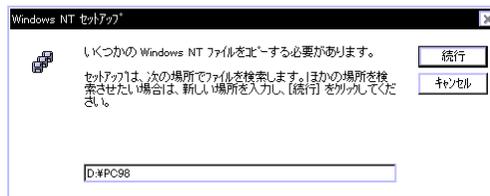


- (10) 「ネットワークで使用するネットワークプロトコルを選択してください。」と表示されます。「TCP/IPプロトコル」をマークし、「次へ」ボタンをクリックします。
- (11) インストールするネットワークサービスが表示されます。そのまま「次へ」ボタンをクリックします。



(12) 「選択されたネットワークコンポーネントとシステムに必要なコンポーネントをインストールします。」と表示されるので、「次へ」ボタンをクリックします。

(13) 本製品に添付のCD-ROMをパソコンから取り出し、Windows NT 4.0のCD-ROM (disc1)を入れます。CD-ROMのドライブ名とインストール元のフォルダ名を入力します。フォルダ名は、PC-98シリーズの場合「PC98」、AT互換機の場合「I386」とします。ドライブ名とフォルダ名を確認し、「続行」ボタンをクリックします。



(14) 「セットアップメッセージ」画面が表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

(15) 上記(13)の「Windows NTセットアップ」画面が表示されます。上記(13)と同様に、CD-ROMを入れたドライブ名とインストール元のフォルダ名(PC98またはI386)を入力し、「続行」ボタンをクリックします。ここから先は、RAS(リモートアクセスサービス)の追加になります。

## 注意

リモートアクセスサービスを組み込まないと、本製品は利用できません

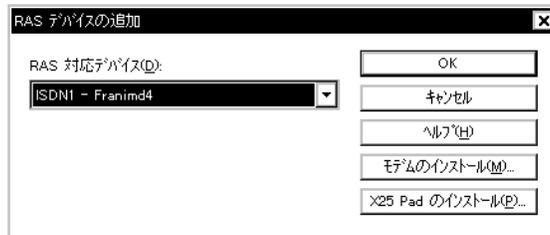
(16) 次のような「セットアップメッセージ」画面が表示されます。Windows NT 4.0のCD-ROM(disc1)をパソコンから取り出します。本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「OK」ボタンをクリックします。



- (17) 次のような「セットアップメッセージ」画面が表示されます。本製品に添付のCD-ROMをパソコンから取り出します。Windows NT 4.0のCD-ROM (disk1)を本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「OK」ボタンをクリックします。



- (18) 「RAS対応デバイス」欄で使用するポートを選択します。通常は、「ISDN1-Franimd4」を選択します。ポート名 (RAS対応デバイス名) 確認し、「OK」ボタンをクリックします。



## 注意

この「ISDN」の番号は、お客様のパソコンの環境によって変化します。

- (19) ポート名、デバイス名、種類を確認します。上記(18)で選択したポート名(ここでは「ISDN1」と「Franimd4」が表示されるのを確認します。「構成」ボタンをクリックします。



(20) 「ポート使用の構成」画面が表示されます。この画面では、インターネットにアクセスするだけの場合や、RASクライアントとしてのみ使用する場合、「ダイヤルアウトのみ」をマークします。通常、この設定で動作を確認されることをおすすめいたします。

「OK」ボタンをクリックすると、前ページ(19)に戻ります。

### 注意

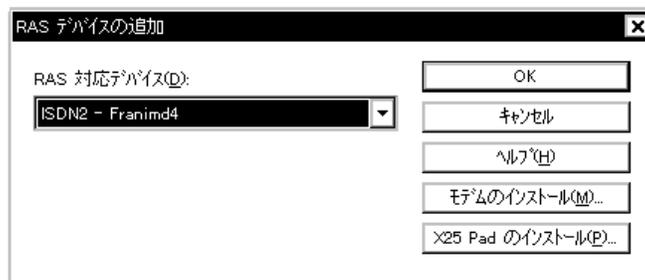
RASサーバとしてのみ使用する場合は、「着信のみ」をマークします。両方の目的で使用する場合は、「ダイヤルアウトと着信」をマークします。

(21) 同期64kbps通信に加えて、同期128kbps通信も行うことがある場合は、上記(19)の画面で「追加」ボタンをクリックします。

### 注意

ここで同期128kbps通信もできるように設定したほうが、インストール後に64kbps/128kbpsの変更が容易に行えます。

(22) 追加するデバイス(例:ISDN2-Franim4)を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



(23) (19)の画面に戻ります。「構成」ボタンをクリックします。

(24) 「ポート使用の構成」画面が表示されます。追加したデバイスに対しても、上記(20)と同様の設定を行います。設定内容を確認後、「OK」ボタンをクリックします。

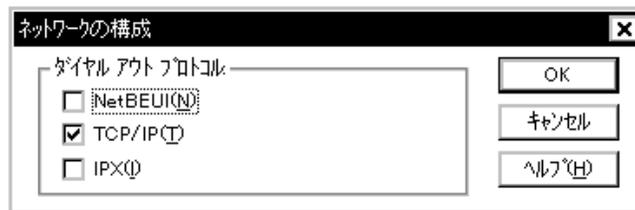
### 注意

Windows NT 4.0 Workstationをお使いの方は、上記(20)で「着信のみ」あるいは「ダイヤルアウトと着信」を選択した場合、追加するデバイス(ここではISDN2-Franim4)の設定を行う「ポート使用の構成」画面において、「着信のみ」あるいは「ダイヤルアウトと着信」にすることはできません。この場合、以下のメッセージ画面が表示されます。



(25) (19)の画面で、追加されたポート(例:ISDN2)を確認し、「ネットワーク」ボタンをクリックします。

(26) 「ネットワークの構成」画面が表示されます。「TCP/IP」をマークし、「OK」ボタンをクリックします。



## 注意

Windows NT 4.0 Workstationをお使いで、(20)で「着信のみ」および「ダイヤルアウトと着信」を選択された方は、「ネットワークの構成」画面が、上記(26)と異なります。取扱説明書「12.2.2 RASの設定・利用方法」をご覧ください。

(27) (19)の画面に戻ります。「続行」ボタンをクリックします。

(28) (13)のような「Windows NTセットアップ画面」が表示されます。Windows NT 4.0のCD-ROM(disc1)を入れたドライブ名とインストール元のフォルダ名(PC98/I386)を入力し、「続行」ボタンをクリックします。

(29) セットアップメッセージ「TCP/IPプロトコルはすでにシステムに存在します。」と表示される場合、「OK」ボタンをクリックします。

(30) ネットワークに関して特に設定が必要な場合は、「バインドの表示」欄で設定を行います。設定の変更の際には、高度な知識が必要ですが、通常は設定の必要はありません。「次へ」ボタンをクリックします。



(31) 「ネットワークを起動する準備が整いました。」と表示されます。「次へ」ボタンをクリックします。

(32) 「コンピュータ名」および「ワークグループ」の設定を行います。プロバイダに接続するだけの場合は、任意の「コンピュータ名」（ここでの例は「MY PC」）を設定し、「次のメンバー」欄では、「ワークグループ」をマークします。「ワークグループ」の欄はそのまま「WORKGROUP」とします。本製品の動作の確認のためには、まずここでの説明どおりに設定することをおすすめします。

内容を確認後、「次へ」ボタンをクリックします。



## 注意

他のWindows NTパソコンなどにアクセスする場合は、必ずネットワーク管理者に設定内容を確認の上、設定してください。

(33) 「コンピュータにネットワークがインストールされました。」と表示されます。「完了」ボタンをクリックします。

(34) 「新しい設定を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。」と表示されます。「はい」をクリックします。

(35) Windows NT 4.0が再起動します。

(36) 「プログラム」→「設定」→「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」をダブルクリックします。

(37) 「アダプタ」タブをクリックし、「Aterm IB55Pro II Virtual Adapter」と「Aterm IB55Pro II Miniport Adapter」が表示されていることを確認します。



(38) 「プロトコル」タブをクリックし、「Aterm IB55Pro II Service Driver」と「Aterm IB55Pro II Virtual Protocol」が表示されていることを確認します。



これでドライバソフトウェアのインストールは完了です。同期通信のみ使用する場合、再起動した後に「11.4 INSネット64/電話機などの接続」に進みます。その後、取扱説明書「12.1 インターネットへのアクセス」に進み、プロバイダへの接続を行います。

非同期通信を行う場合は、Windows NT 4.0を再起動し、「11.3 モデムのインストール」に進みます。

## ポイント

Windows NT 4.0の場合、ここまでのインストール作業で同期通信用ハードウェアと非同期通信用仮想ハードウェアが同時にインストールされます。Windows NT 4.0の場合、割り込み要求 (IRQ) の空きが1つ以上あれば、同期通信用ハードウェアと非同期通信用仮想ハードウェアの両方をインストールすることができます。

### • ネットワークのインストールをすでに行っている場合(アダプタの追加)

- (1) Windows NT 4.0のCD-ROM(disc1)および本製品に添付のCD-ROMを用意します。
- (2) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開き、「ネットワーク」をダブルクリックします。
- (3) 「アダプタ」タブをクリックし、「追加」ボタンをクリックします。(表示されるネットワークアダプタ名は、ご利用のネットワーク環境によって異なります。)



- (4) 「ネットワークのインストールをまだ行っていない場合」の(6)～(8)を行います。
- (5) 「ネットワークのインストールをまだ行っていない場合」の(14), (15), (18)～(27)を行います。
- (6) 「アダプタ」タブをクリックし、「Aterm IB55Pro II Miniport Adapter」と「Aterm IB55Pro II Virtual Adapter」が表示されていることを確認します。

- (7) 「プロトコル」タブをクリックし、「Aterm IB55Pro II Service Driver」と「Aterm IB55Pro II Virtual Protocol」が表示されていることを確認します。確認後、「閉じる」ボタンをクリックします。
- (8) 「新しい設定を有効にするにはコンピュータを再起動する必要があります。」と表示されます。「はい」をクリックします。
- (9) Windows NT 4.0が再起動します。

これでドライバソフトウェアのインストールは完了です。同期通信のみ使用する場合、再起動した後に「11.4 INSネット64/電話機などの接続」に進みます。その後、取扱説明書「12.1 インターネットへのアクセス」に進み、プロバイダへの接続を行います。

非同期通信を行う場合は、Windows NT 4.0を再起動し、「11.3 モデムのインストール」に進みます。

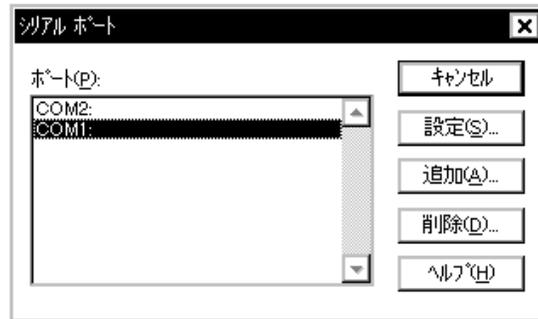
## ポイント

Windows NT 4.0の場合、ここまでのインストール作業で同期通信用ハードウェアと非同期通信用仮想ハードウェアが同時にインストールされます。Windows NT 4.0の場合、割り込み要求 (IRQ) の空きが1つ以上あれば、同期通信用ハードウェアと非同期通信用仮想ハードウェアの両方をインストールすることができます。

## 11.3 モデムのインストール

非同期通信を行う場合、同期ドライバソフトウェアのインストールの後、「モデム」のインストールを行います。

- (1) 本製品に添付のCD-ROMを用意します。
- (2) 「スタート」→「設定」→「コントロールパネル」を開き、「シリアルポート」をダブルクリックします。
- (3) 現在使用できるCOMポートの番号を確認し、「キャンセル」ボタンをクリックします。COMポートの番号はメモしておきます。(この場合、COM1、COM2)



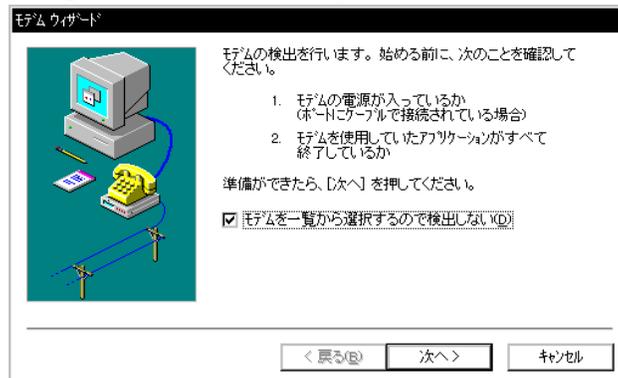
- (4) 本製品が接続されているCOMポートの番号を確認します。  
Windows NT 4.0に標準で添付されている「ハイパーターミナル」を起動し、上記(3)でメモしておいたCOM番号(この場合、COM1、COM2)を指定します。ATI4コマンドを入力して「Aterm IB NEC Corporation」と表示された場合、そのCOM番号をメモしておきます。  
「ハイパーターミナル」の起動方法などは、取扱説明書「2.2.7 インストールの確認」を参照してください。



- (5) 「コントロールパネル」内の「モデム」をダブルクリックします。
- (6) 他のモデムがインストールされている場合、次のような画面が表示されます。  
この場合、「追加」ボタンをクリックします。  
他のモデムがインストールされていない場合、(7)に進みます。



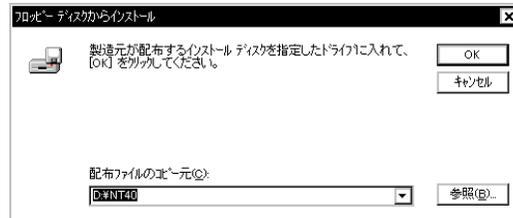
- (7) 「モデムウィザード」が起動します。「モデム一覧から選択するので検出しない」をマークし、「次へ」をクリックします。



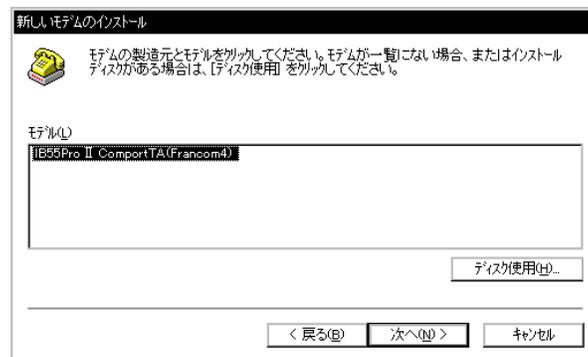
- (8) 本製品に添付のCD-ROMをCD-ROMドライブに入れ、「ディスク使用」ボタンをクリックします。



- (9) 「フロッピーディスクからインストール」画面が表示されます。「参照」ボタンをクリックし、CD-ROMドライブ内の「Nt40」フォルダを選択します。「OK」ボタンをクリックします。



- (10) 「IB55Pro II ComportTA (Francom4)」を選択し、「次へ>」ボタンをクリックします。



- (11) (4)で確認したCOMの番号を選択します(この場合、COM2)。「次へ」ボタンをクリックします。

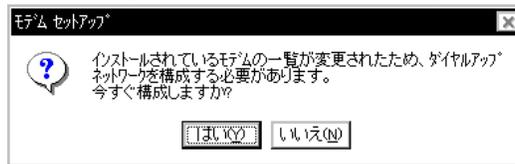


- (12) 「モデムは正常にセットアップされました。」と表示されるのを確認後、「完了」ボタンをクリックします。
- (13) 「モデムのプロパティ」画面が表示されます。「モデム」欄に「IB55Pro II ComportTA (Francom4)」と表示されるのを確認します。



「接続先」欄のCOM番号(この場合、COM2)をメモしておきます。  
内容を確認後、「閉じる」ボタンをクリックします。

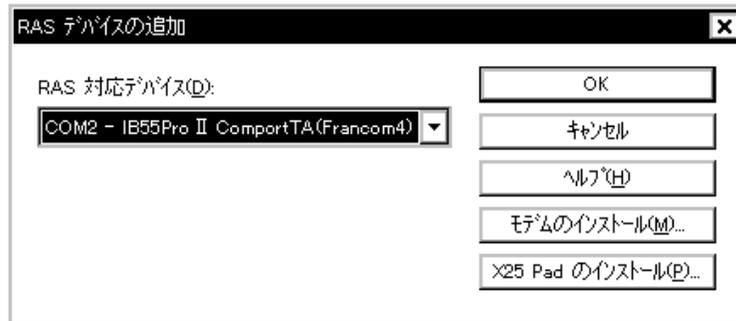
(14) 次の「モデムセットアップ」画面が表示されます。「はい」をクリックします。



(15) 次のような「リモートアクセスセットアップ」画面が表示された場合は、「追加」ボタンをクリックし、「IB55Pro II ComportTA」に対してRASの設定を行います。



(16) 「RAS対応デバイス」欄で、追加するデバイス(例: COM2-IB55Pro II ComportTA (Francom4))を選択し、「OK」ボタンをクリックします。



- (17) (15)の画面に戻ります。「構成」ボタンをクリックします。
- (18) 「ポートの構成」画面が表示されます。追加したデバイス(ここではCOM2-IB55 Pro II ComportTA (Francom4)に対してもP. 145の(20)と同様の設定を行います。設定内容を確認後、「OK」ボタンをクリックします。
- (19) (15)の画面に戻ります。追加されたポート(ここではCOM2)を確認し、「ネットワーク」ボタンをクリックします。
- (20) 「ネットワークの構成」画面が表示されます。「TCP/IP」をマークし、「OK」ボタンをクリックします。
- (21) (15)の画面に戻ります。「続行」ボタンをクリックします。
- (22) 「新しい設定を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。」と表示されます。「はい」をクリックします。

### 注意

「コントロールパネル」→「シリアルポート」でポートの追加や削除を行ったり、他の拡張シリアルボードなどを追加/削除したりすると、いったん設定したCOM番号が変更されることがあります。この場合、モデムのインストールをやり直す必要があります。本製品をインストールしたために、他の拡張シリアルボードなどに設定されていたCOM番号が変更されることがあります。

これでWindows NT 4.0上で、同期通信および非同期通信ができるようになりました。

インストールの確認は、取扱説明書「2.2.7 インストールの確認」を参照してください。

## **11.4 INSネット64/電話機などの接続**

取扱説明書「Part 2 Windows 95編」の「第3章 INSネット64電話機などの接続」をご覧ください。